

講師紹介

阿部 昇(あべ・のぼる)

1954年東京都生まれ。秋田大学教育文化学部教授。「読み」の授業研究会代表。日本教育方法学会常任理事、全国大学国語教育学会理事、日本NIE学会理事、秋田県検証改善委員会委員長。専門は国語科教育学、授業研究。著書『国語力をつける物語・小説の「読み」の授業—PISA読解力を超えるあたらしい授業の提案』『文章吟味力を鍛える—教科書・メディア・総合の吟味』『授業づくりのための「説明的文章教材」の徹底批判』(以上・明治図書)、『力をつける「読み」の授業』(学事出版)、『頭がいい子の生活習慣—なぜ秋田の学力は全国トップなのか?』(ソフトバンク・クリエイティブ)など多数。柴田義松氏・鶴田清司氏との共編著に『あたらしい国語科指導法・4訂版』(学文社)がある。

懇親会で、熱く語りあいましょう!

講師の先生や全国の仲間と、国語の授業のこと、さらには教育全般・職場のこと—大いに交流しましょう。おいしいお酒も用意しています。

日時 8月22日(一日目) 18:45~20:15 場所 立命館大学 会費 2,500円

大会参加申し込み

①郵便番号・住所・氏名・所属(学校名)を明記の上、下記の口座に参加費7,000円(懇親会参加の場合は2500円プラス)を振り込んでください。懇親会参加の場合はその旨を明記してください。

※住所・お名前は楷書でお書きください。判読できないと参加証がお送りできません。
※ATMで振込をされると振り込み料金が50円安くなります。

郵便振替 口座番号：00950-9-24065 加入者名：読み研

②入金を確認後、参加証をお送りします。 ③当日、参加証をお持ちください。

大会についての問い合わせ

●大会担当 永橋 和行 電話 075-432-8972(自宅)075-496-7777(立命館小学校)もしくは、読み研HP(<http://www.yomiken.jp/>)にある「問い合わせ」メールをご利用ください。

「読み」の授業研究会(読み研) <http://www.yomiken.jp>



「読み」の授業研究会(読み研) 第29回夏の大会

テーマ

国語科の「言語活動」を徹底追究する
—学び合い、学習集団、
アクティブ・ラーニングとしての「言語活動」

日時 | 2015年8月22日(土) 10:30~23日(日) 13:00

場所 | 京都・立命館大学(衣笠キャンパス)

参加費 | 7,000円 学生3,000円(当日参加は各500円増)

懇親会：2,500円 ※懇親会参加希望の方は参加費に2,500円プラスして申し込んでください。

日程

22日(土)

10:00~	受付
10:30~12:00(90分)	特別入門講座—やさしくわかりやすい物語・小説の授業づくり —教材「スイミー」(小2)、「ごんぎつね」(小4)、「アイズプラネット」(中2)を使って 阿部 昇(秋田大学・読み研代表)
13:00~13:20(20分)	開会ミニ講座:本大会で「言語活動」をどのように追究し解明していくのか 加藤 郁夫(読み研事務局長)
13:30~14:50(80分)	ワークショップ的分科会I —物語・小説の授業で「言語活動」を最大限に生かす 1: 物語・小説の「構成・構造」を読む力をつける「言語活動」とは —教材「ごんぎつね」(小4)と「あめ玉」(小5)を使って 加藤 辰雄(愛知県立大学・非常勤) 2: 物語・小説の「形象・表現の技法」を読む力をつける「言語活動」とは —教材「お手紙」(小2)「モチモチの木」(小3)を使って 臺野 芳孝(千葉・北貝塚小学校) 3: 物語・小説を「吟味・批評・評価」する力をつける「言語活動」とは —教材「カレーライス」(小6)と「走れメロス」(中2)を使って 高橋 喜代治(立教大学) 4: 古典・伝統的言語文化を読み深める力をつける「言語活動」とは —教材「立石寺」『奥の細道』と「仁和寺にある法師」『徒然草』を使って 熊谷 尚(秋田大学教育文化学部附属小学校)
15:10~16:50 (講演70分+対談30分)	記念講演と対談「言語活動」を最大に生かす5つの秘訣 講師:阿部 昇 対談者:加藤 郁夫
17:10~18:30(80分)	授業づくり入門講座 A: 小学校の先生のための国語の授業づくり・入門 —教材「大造いさんとガン」(小5)を使って 庄司 伸子(秋田・鷹巣西小学校) B: 中学校・高校の先生のための国語の授業づくり・入門 —教材「オオカミを見る目」(中1)と「技術が道徳を代行する時」(高1)を使って 竹田 博雄(大阪・高槻中学高校) C: 学習集団・学び合いをつくり出すための国語の授業づくり・入門 —教材「海の命」(小6)を使って 町田 雅弘(茨城・茗溪学園中学高校) D: DVD(ビデオ)映像を使った国語の授業研究・入門 —熊谷尚先生のNIE(新聞記事)の授業の研究 湯原 定男(岐阜・多治見西高校附属中学校)
18:45~20:15(90分)	懇親会

23日(日)

9:00~10:20(80分)	ワークショップ的分科会II —説明的文章の授業で「言語活動」を最大限に生かす 1: やさしくわかりやすい説明的文章【説明文・論説文】の授業づくり・入門 —教材「じどう車くらべ」(小1)と「ありの行列」(小3)を使って 加藤 郁夫 2: 説明的文章の「構成・構造」を読む力をつける「言語活動」とは —教材「自然に学ぶ暮らし」(小6)と「時計の時間と心の時間」(小6)を使って 永橋 和行(京都・立命館小学校) 3: 説明的文章の「論理・思考」を読む力をつける「言語活動」とは —教材「アップとルーズで伝える」(小4)と「想像力のスイッチを入れよう」(小5)を使って 建石 哲男(神奈川・川崎総合科学高校) 4: 説明的文章を「吟味・批判」する力をつける「言語活動」とは —教材「すがたをかえる大豆」(小3)と「シカの落ち穂拾い」(中1)を使って 鈴野 高志(茨城・茗溪学園中学高校)
10:40~12:50(130分)	全体模擬授業—「言語活動」を生かした「少年の日の思い出」(中1)の授業 授業者 熊添 由紀子(福岡・黒木中学校) 1: 模擬授業 (10:40~11:40) (オリエンテーション10分+授業50分) 2: 授業検討 (11:45~12:50) 指定討論:阿部 昇 司会:加藤 郁夫
12:50~13:00	研究のまとめ

「今、日本で一番活力のある注目の研究会「読み研」の夏の大会に是非おいでください」

「読み」の授業研究会、2015年夏の大会は「国語科の『言語活動』を徹底追究する一学び合い、学習集団、アクティブ・ラーニングとしての『言語活動』」をテーマとして研究をすすめます。(昨年、科学的「読み」の授業研究会から改称しました。「読み研」の愛称はこれまで同様変わりません。)

学習指導要領で「言語活動」が強調されました。その提起自体には歓迎すべき要素もありますが、国語の授業では残念ながら活動主義的な傾向が生まれてきています。

学習指導要領「国語」には、「言語活動」例として「感想を述べ合う」「交流する」「読み合う」「意見を述べ合う」などが挙げられています。また「総則」には「問題解決的学習」「自主的・自発的な学習」を重視すべきことが指摘されています。

今後は「言語活動」中の「述べ合い」「交流」「読み合い」「討論」など、子ども相互が主体的に学び合う要素を重視して国語の授業を展開していくべきと考えます。言い換えれば「学習集団」を生かした学習です。「言語」にこだわりつつ学習集団を生かすのです。

夏の大会では、国語の授業でどのように「学び合い」「学習集団」を生かすか、それにより子どもたちにどういう力をつけていったらいいかを追究します。「アクティブ・ラーニング」もその線ととらえます。

「古典」の授業や授業ビデオの分析講座もあります。入門講座も豊富にあります。全体模擬授業は言語活動を生かした小説「少年の日の思い出」です。

みなさんのご参加をお待ちしています。

読み研代表 阿部 昇(秋田大学)